

蟻塚 知都 Kazuto ARIZUKA

あわら市金津中学校 教諭

1997 福井県福井市生まれ

2019 国立台湾藝術大学にて木彫アトリエ交流

2022 福井大学教職大学院 修了

◆主な展示、賞歴

2017 第 25 回木彫フォークアートおおや兵庫県知事賞
受賞(兵庫県養父市)

2019 「記と刻」蟻塚知都・福田裕理二人展
HOMME(福井県福井市)(主催:HAI Studio)

2020 「福井大学卒業・修了制作展 2020」 福井市美術館
(主催:福井大学美術科)

「Arts Happen!」参加 会場:グラン・シェフ:クーゼー、和フレンチ IORI
イタリアンバルクオーレ、レストランジャルダン(主催:アーツ&コミュニティふくい)

2021 ゲストハウス「荒島旅舎」に作品提供

「歪んで消エテ」蟻塚知都・福田裕理二人展 鯖江市まなべの館(個人開催)
「Point of View-視点の礎-」 ギャラリー-FIXA(主催:ギャラリー-FIXA)

2022 「福井大学卒業・修了制作展 2022」 福井県立美術館(主催:福井大学美術科)

「ビ・キャンパス」 cocono アートプレイス(主催:cocono アートプレイス)

「2022 SHOUNDO アート駅伝」匠雲堂 (主催:匠雲堂)

「蟻塚知都 THE PRAYHOUSE OF OUR OWN」 ART SITE25(主催:E&C アートベース)



「傾いた女」 楠 2022

私は「人間の歪みや傾き」をテーマに彫刻を制作しています。私の制作する人間像は、歪んでいたり、傾いていたりしています。それは、人間の不安定さや、不確実さ、不誠実さの表現でもありますが、一方で、私にとって「人間とは何か」を考える実験のかたちでもあります。

作品を制作するときに、私が重要視していることはその像が持つ空間性です。私は、彫刻について、空間をつくることがその本質と捉えており、形態、量塊、動勢と言われる彫刻の要素は、即ち、空間を構成する要素であると考えています。私たちは常に空間の中に生きており、その空間にモノを存在させる彫刻は紛れもない現実として鑑賞者の前に現れ、「見せる」と同時に「体感」させます。傾いていたり、逆さまになっていたり、人間の空間性に対する実験を体感することで、自身もそれを見る人も「人間とは何か」という問いを考え続けることを期待しています。

「境界」について・・・

わたしとあなた。わたしとだれか。わたしと世界。わたしとワタシ。